

# みて！みて！きて！ ミニ情報



発行者 「エコ・サポート21」

天神3丁目11番31号

電話 23-5144

平成24年3月号

1	木	
2	金	
3	土	休館日
4	日	休館日
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	休館日
11	日	休館日
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	着物からエプロンづくり
16	金	
17	土	休館日
18	日	休館日
19	月	布ぞうりづくり
20	火	休館日(春分の日)
21	水	
22	木	着物からエプロンづくり
23	金	
24	土	休館日
25	日	休館日
26	月	布ぞうりづくり
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	休館日

## - アドバイザーの活動を通して - “成果あり”

アドバイザーの業務に堆肥化機器等の使用状況調査がある。私も15年前、電気式堆肥化機器を販売した経験がある。当時の機器は現在の物より性能が劣り、故障も多発し悪臭・害虫の発生等々で、ついには販売中止という苦い経験だった。県内外の生ごみ堆肥化施設でも同様の問題が発生し、ハエ駆除・消臭等の薬剤の販売もしたことがある。昨年10月に行われた『うえだ環境フェア』の会場で、かつて販売中止をした会社の堆肥化機器を見ることができた。以前の機器とは格段に改善・改良され、当時悩まされた問題も極端に減少しているようだ。

堆肥化機器の使用状況調査についても、予想をしていたような問題も無く、現在の機器は高性能ということがうかがえる。堆肥作りは難しいものと思っていたが、従来の固定観念が足元から崩れ落ちる音が聞こえた。

また、ごみ集積所にアドバイザーの腕章を付け、地域を巡回し、自治会や衛生委員と連絡連携をとりながら、ルール違反ごみの改善を目指してきた結果、マナーの向上が見られるようになった。

何でもやれば出来る、やってみれば必ず結果が出ると思う。生ごみ処理もそうだ、先ずはやってみよう。色々な方法があることも知って、実践して欲しい。



このミニ情報のカレンダーにて毎月館内で行われる催しをお知らせいたします。催し物がない日でも、気楽にお出かけください。良い情報交換ができると思います。

## 修理工房よりお知らせ

庖丁とぎ・・・毎週水曜日 午後1時より午後3時まで

一人1本(無料)

環境に配慮したグリーン購入のお手伝いとして、エコ文具の販売、ペットボトルからつくったネクタイの販売と、手づくりのリサイクル品、布ぞうり、袋物、さき織り製品等の販売。

# さあ！出かけましょう エコ・ハウスへ

## エコクッキングを心がけよう

ごみ減量アドバイザーでエコクッキング行い、自分達でメニューも工夫し、次の点に注意をしてみた。

旬の野菜を皮ごと使い、生ごみを出さないようにする。

野菜等を洗う場合、洗い桶に溜め水をして水を流しっぱなしで洗わない。

食器等を洗う時も、汚れを古布でふき取り、出来るだけ洗剤を使わず、水も使いすぎない。

鍋の底の水気をふき取り、まめにガスの調節をして調理する。

食べきれるだけの分量を調理して、無駄を出さないよう心がける。

意識しなければ何気なくごみにしていた、きのこの軸、ブロッコリーの茎など上手に使えばスープの具にもなる。出来るだけ使いこなし、調理終了後、ごみの量を計って見るとビックリするほど少なく、目からウロコのエコクッキングだった。

心がけひとつでごみ減量、環境にやさしい暮らしをあなたも考えてみませんか。

## 体験コーナー

空き缶のリサイクル

牛乳パックのリサイクル

少しの時間で作れる物があります。

## 生ごみの堆肥化とごみ減量

わかりやすく、すぐ実行できるごみ減量法をアドバイスいたします。

## わくわく講座

参加費：各講座各回 100円

### 着物からエプロンづくり (定員 8 名)

日時・ 3月15日(木)、22日(木) 午前10時～午後3時 (2回コース)

持ち物 着物(解いて)、裏用布地、裁縫用具、型紙用紙、弁当

材料費 100円

諸経費 100円(各回につき)

### 布ぞうりづくり (定員 10 名)

日時・ 3月19日(月)、26日(火) 午前10時～午後3時 (2回コース)

持ち物 ゆかた等木綿の布、ものさし30cm位、はさみ、弁当

材料費 30円(各回につき)



## 申し込み、問い合わせ先

「エコ・ハウス」(上田クリーンセンター内) 上田市天神 3-11-31 23-5144

ホームページアドレス <http://www.city.ueda.nagano.jp/echouse/>